

令和3年度 学校評価(児童アンケート) 12月実施

各評価は％表示 1名でも回答があった場合は1％として記載

		調査項目・評価	4	3	2	1
1		1 先生は、わからないところをていねいに教えてくれる。	74	22	3	1
2		2 先生は、授業がわかりやすくなるよう、いろいろな工夫をして教えてくれる。	71	24	4	1
3		3 先生は、学習のきまりをしっかりと守らせている。	73	24	2	1
4		4 授業で自分の考えをまとめたり、発表したりすることがよくある。	41	27	20	12
5		5 将来の夢や希望を持っている。	69	22	5	4
6		6 読書を進んでやっている。	51	22	15	12
7		7 家庭学習を進んでやっている。	54	27	12	7
8		8 先生は、自分のことをよくほめてくれる。	50	36	11	3
9		9 先生は、いじめなど困っていることについて取り上げてくれる。	72	23	4	1
10		10 先生は、わたしたちの話をよく聞いてくれる。	63	30	5	2
11		11 道徳の授業は自分のためになっている。	72	19	7	2
12		12 自分の物や学校などの物を大切にしている。	71	22	6	1
13		13 学校へ行くのが楽しい。	59	24	9	8
14		14 進んであいさつをしている。	61	29	7	3
15		15 安全に気を付けて行動している。	61	29	7	3
16		16 体力づくりにはげんでいる。	50	29	12	9
17		17 毎朝決まった時間に起きることができる。	39	32	17	12
18		18 毎朝ごはん(パンなど)を食べている。	78	15	4	3
19		19 先生は、連絡ノートや日記などに学校での様子などをメモしたり、学級での様子をお家の人(保護者)に伝えたりしている。	58	30	7	5
20		20 地域が好きである。	65	23	9	3

1名でも回答があった場合は1％として記載

【調査結果H29～R1】

	そう思う			ややそう思う			そう思う・ややそう思うの合計				
	R3,12	R2,12	R1,12	R3,12	R2,12	R1,12	R3,12	R2,12	R1,12	前年度差	
1	74	84	84	22	14	13	96	98	97	-2	
2	71	84	73	24	14	20	95	98	93	-3	
3	73	87	81	24	11	17	97	98	98	-1	
4	41	34	33	27	38	36	68	72	69	-4	
5	69	70	75	22	22	16	91	92	91	-1	
6	51	48	51	22	30	18	73	78	69	-5	
7	54	48	52	27	30	26	81	78	78	3	
8	50	59	53	36	33	34	86	92	87	-6	
9	72	81	79	23	15	19	95	96	98	-1	
10	63	78	75	30	18	22	93	96	97	-3	
11	72	79	74	19	17	22	91	96	96	-5	
12	71	72	68	22	22	27	93	94	95	-1	
13	59	66	60	24	26	25	83	92	85	-9	
14	61	63	60	29	26	25	90	89	85	1	
15	61	67	64	29	26	25	90	93	89	-3	
16	50	63	58	29	22	23	79	85	81	-6	
17	39	44	44	32	28	30	71	72	74	-1	
18	78	81	79	15	12	13	93	93	92	0	
19	58	62	66	30	28	23	88	90	89	-2	
20	65	67	68	23	26	19	88	93	87	-5	

	あまりそう思わない			思わない			あまりそう思わない・思わないの合計				
	R3,12	R2,12	R1,12	R3,12	R2,12	R1,12	R3,12	R2,12	R1,12	差	
3	1	3	1	1	0	3	2	3	1		
4	1	4	1	1	3	4	2	7	2		
2	1	2	1	1	0	2	2	2	0		
20	20	21	12	8	10	20	28	31	-8		
5	6	6	4	2	3	5	8	9	-3		
15	17	23	12	15	8	15	32	31	-17		
12	10	18	7	12	4	12	22	22	-10		
11	5	9	3	3	4	11	8	13	3		
4	2	2	1	2	0	4	4	2	0		
5	3	2	2	1	1	5	4	3	1		
7	3	2	2	1	2	7	4	4	3		
6	5	4	1	1	1	6	6	5	0		
9	5	7	8	3	8	9	8	15	1		
7	9	11	3	2	4	7	11	15	-4		
7	5	8	3	2	3	7	7	11	0		
12	11	15	9	4	4	12	15	19	-3		
17	15	15	12	13	11	17	28	26	-11		
4	5	5	3	2	3	4	7	8	-3		
7	8	8	5	1	3	7	9	11	-2		
9	4	8	3	3	5	9	7	13	2		

<結果>

- 前年度比マイナス項目が多く見られるが、全20項目中10項目で90％以上、6項目で80％以上の数値となっている。
- 「1先生は、わからないところをていねいに教えてくれる。」「2先生は、授業がわかりやすくなるよう、いろいろな工夫をして教えてくれる。」「3先生は、学習のきまりをしっかりと守らせている。」「5将来の夢や希望を持っている。」「9先生は、いじめなど困っていることについて取り上げてくれる。」「10先生は、わたしたちの話をよく聞いてくれる。」「11道徳の授業は自分のためになっている。」「12自分の物や学校などの物を大切にしている。」「15安全に気を付けて行動している。」「18毎朝ごはん(パンなど)を食べている。」の10項目は3年連続で90％以上の数値となっている。
- 「13学校へ行くのが楽しい」の項目が前年度比マイナス9％と大きく落ち込みがある。
- 「4 授業で自分の考えをまとめたり、発表したりすることがよくある。」「6 読書を進んでやっている。」「17 毎朝決まった時間に起きることができる。」の3項目はプラス評価が3年連続で80％を切っている。

<考察>

- 3年連続90％以上の項目を考察すると「確かな学力」「豊かな心」「体力向上」の多くの項目に分かれており、教諭1人1人が学校教育目標や目指す子ども像、共通実践事項を明確に意識した取組を実践しているからだと考えられる。
- 16項目で80％以上の評価がされていることは、学習面、生徒指導面、家庭の協力など全ての項目において、学校と保護者が協力しながら取り組んでいることが考えられる。

- 項目4に関しては、コロナ禍による交流学習の設定が難しかったことも要因としてはあると考えられるが、「自分の考えをまとめる」「自分の考えを発表する」時間や場面の設定が不足していると考えられる。
- 項目6に関しては、日常における読書時間の設定の工夫を図ることや児童が主体的に読書に向かう雰囲気作りなどを学校全体を通した取り組みが充分ではなかったと考えられる。
- 項目17に関しては、遅刻人数は減少傾向にあるものの、取組の目的やその意義を児童に伝えることや保護者との連携や協力依頼が充分ではないと考えられる。

<改善策>

- 各教科の特性をいかした言語活動の充実に取り組んでいくことが必要である。また、タイムマネジメントを意識した授業展開、全体交流の際の「聴く力」を育てていく必要がある。
- 「読書」の定着していない児童に対して、家庭、地域とも協力して行えるような取組を推進していく。校内においては、「読書時間」の設定を学校全体で取り組んだり、図書委員会を中心にした児童主体の読書活動を推進していく必要がある。